

くまがや自治連だより

ひろば

第12号

平成24年10月発行

祭と自治会

熊谷市自治会連合会副会長

高橋 徳夫

伝統と歴史を誇る関東一の祇園「熊谷うちわ祭」は例年に比べ涼しい天候の中での開催となりましたが、盛大に無事終了する事ができました。うちわ祭には旧市内の12町が参加していますが、町内により自治会数が多い所と少ない所があり、祭の費用も高額になりますので、自治会数が少ない町内では、費用を集めるのが大変です。各町内とも寄付を集めるのは自治会が中心となり、祭と深く関わっています。

私の町内は「筑波区」です。6月に祭の予算を作成し、単一自治会の寄付金の募集額が決まると自治会長が中心になり、祭事役員と協力して各家庭を集金に伺います。

自治会では、他の行事に関しても、安心して暮らせる住みよい地域社会づくりをめざし、協力をしていきます。

会長あいさつ



熊谷市自治会連合会
会長 小林 芳雄

東日本大震災発生から1年が経過し、被災地の方々
の力強い復興の意欲を感じ一日も早く日本中が明るい
笑顔になることを願うものです。

震災後、人と人との絆の大切さが改めて見直されて
います。こうした中、各自治会長さんは人間関係を育
むとともに、身近な地域の問題を解決するために日々
取り組んでいる姿に敬意と感謝を申し上げます。

地域を取り巻く環境はライフスタイルの変化と価値
観の多様化また地域社会への無関心な人々の拡大とい
う社会現況もあります。こうした中、熊谷市自治会連
合会は各自治会の連携・情報交換、そして各地域の伝
統を守り、新しさを求め取り組んでいます。具体的には、
自治会活動ハンドブックの作成・自治会の実態調査・
新任自治会長研修の開催・県外研修等を通して自治会
のあり方、行政との連携、情報交換に取り組んでいます。
また、自治会長さん自身の健康と親睦を図るためグラ
ウンドゴルフ大会を開催し、自治会連合会の更なる発
展を目指し心の通い合う安心・安全な地域づくりを目
指しています。

自治会長さんのご支援ご協力をお願いすると共に、
各自治会の発展を心よりお祈りします。

熊谷市自治会連合会 会長・副会長の紹介

副会長										会長	
江大	賽北	南西	西	東	中	中	中	賽	沼	地区	小林 芳雄
江大	南里	沼地	地	2	1	中央	中央	中央	沼地	地区	
江大	南里	沼地	地	2	1	中央	中央	中央	沼地	地区	
小須	茂	飯野	宗	小嶋	佐藤	根岸	高橋	小	林	芳雄	
柴	俊	嘉	幸	我	部	悦	隆	功	隆	功	
清彦	一	明	雄	功	隆	功	隆	功	隆	功	

中央1区

自治会長紹介



高橋会長

曙町・万平町		筑波					銀座					自治会名	会長名						
曙町一丁目第1	曙町一丁目第2	曙町一丁目第3	曙町一丁目第7	筑波第6	筑波第5	筑波第4	筑波第3	筑波第2	筑波第1	銀座一丁目	銀座二丁目	銀座三丁目	銀座四丁目	銀座七高山	住吉町	末広	銀座第8	県営熊谷銀座団地	出井 哲司
杉浦 保一	代田 保一	三好 克彦	高橋 徳夫	下山 善夫	小池 正雄	中村 勝訓	吉田 安夫	藤田 恒好	中村 稔	黒澤 秀夫	五十嵐 礼子	内田 宏	平 辰雄	小林 哲嗣	高橋 義博	小松原 一起	大久保 順弘	高橋 義博	

中央2区



根岸会長

中西			曙町・万平町							自治会名	会長名
後中西西部	後中西東部	中西	万平町二丁目第1	万平町二丁目第2	万平町二丁目第3	曙町五丁目	曙町四丁目	曙町三丁目	曙町二丁目第1	曙町二丁目第2	林 真一
伊藤 洋	間庭 丈志	市川 富夫	伊藤 友広	榎本 文岳	渡邊 匡洋	篠田 健	加藤 明彦	笠原 弘文	橋本 昌克	金沢 昭	

元町		宮町							自治会名	会長名		
元町第1	元町第2	宮町第8(副会長)	宮町第7の1	宮町第7の2	宮町第6の1	宮町第5の1	宮町第5の2	宮町第4	宮町第3	宮町第2	宮町第1	小沼 博晴
細村 陽一	今井 徹雄	田部 井 猛	加藤 守	松島 恒	宮城 道明	井田 里子	大塚 洋子	重竹 淳一	小沼 博晴	金沢 昭	林 真一	

中央3区



佐藤会長

石原		自治会名	会長名
石原三丁目第3	石原三丁目第2	石原二丁目第1	小堀 兼一
石原二丁目第3	石原二丁目第2	石原二丁目第1	奈雲 達雄
石原三丁目第3	石原三丁目第2	石原三丁目第1	持田 一清
石原三丁目第3	石原三丁目第2	石原三丁目第1	清水 典雄
石原三丁目第3	石原三丁目第2	石原三丁目第1	池田 和好

本町		元町		自治会名		会長名	
本町中央	本町東部	元町第4	元町第5	元町第3	野本 史朗	加藤 二郎	龍前 二郎
本町中央	本町東部	元町第4	元町第5	元町第3	野本 史朗	丸岡 貞夫	中村 一郎
本町中央	本町東部	元町第4	元町第5	元町第3	野本 史朗	清水 洋	石川 哲男
本町中央	本町東部	元町第4	元町第5	元町第3	野本 史朗	根岸 一雄	石川 哲男
本町中央	本町東部	元町第4	元町第5	元町第3	野本 史朗	松永 一雄	根岸 一雄
本町中央	本町東部	元町第4	元町第5	元町第3	野本 史朗	島村 勝信	根岸 一雄
本町中央	本町東部	元町第4	元町第5	元町第3	野本 史朗	大原 勝信	根岸 一雄
本町中央	本町東部	元町第4	元町第5	元町第3	野本 史朗	大原 勝信	根岸 一雄
本町中央	本町東部	元町第4	元町第5	元町第3	野本 史朗	大原 勝信	根岸 一雄
本町中央	本町東部	元町第4	元町第5	元町第3	野本 史朗	大原 勝信	根岸 一雄
本町中央	本町東部	元町第4	元町第5	元町第3	野本 史朗	大原 勝信	根岸 一雄

佐谷田	星宮	自治会名
戸平 佐谷田北區 飛田 高橋 清水 潮山 小高 加藤 政弘 重吉 宏祐 雅夫 芳久 嘉宏	堀口 池上 堀口 武夫 堀口 正行	会長名



東 区

石原一丁目 泉宮石原住宅 田原町 月見町一丁目 本石一丁目第1 本石一丁目第2 赤城町一丁目 赤城町二丁目 赤城町三丁目 太平洋セメント 月見町社宅	福田 英毅 青田 茂助 石川喜代一 松崎 安雄 吉野 正平 大谷 恒男 渡邊達四郎 大谷 武 平子 茂 深谷 幹則	連合組織を持たない自治会
--	--	--------------

上 石	本石二丁目	自治会名
田 坪井第2 坪井第1 上植木 聖天 上石第2 上石第1	本石二丁目第1 本石二丁目第2 本石二丁目第3 本石二丁目第4 本石二丁目第5	若林 雄二 小澤 雄二 笠原 秀雄 鈴木 守 北田 政男 佐藤 恒夫 青木 秀夫 高橋 秀夫 宮下 良夫 森 牧男 原 忠行 瀧澤 繁雄

玉 井	自治会名	会長名
久保島第一 久保島第二	福嶋 義光 小林 正幸	小林 隆会長



西 1 区

成田西部	成 田	久 下	自治会名
雀宮上之 京成熊谷上之 藤之宮 東陣場 稲荷木陣場 上原 西向諏訪 向諏訪 上宿 上之北 旧宿裏 上之東部 吉原 成田五田塚第1 成田北部 下郡 宿裏 堀之内 法藤 上之五田塚 秋葉 成田山 成田廓 原山 上川上 成田第1 太井	木村 正治 棚沢 茂 見竹 克彦 須賀 茂春 松本 軍征 須藤 滋雄 岩崎 康治 山口 竹市 木村 清昭	植松 義光 福嶋 良三 石田 又之 三友 幸雄 岡部 俊夫 青木 勝功 山本 勝久 黒田 勝則 堀切 哲 岡田 明夫 中村 次男 小久保正夫 嶋田 忠男 堀澤 孝明 長峯 孝明 関根 勝之 堀口 久義 高田 七郎 中條 康雄 石井 真弓 田中 和夫	久下龍久 久下上区 久下下区 久下新田

大麻生	三 尻	自治会名
広瀬西部 広瀬東部 中郷 川原明戸 赤城 西川原 武体 上川原	女堀 新堀新田 自衛隊官舎A.C適合 拾六間第3 拾六間第2 拾六間第1 三尻東部 三尻中部 三尻西部	大澤 廣司 田沼 良定 山田 司知 久保 悦夫 中村 吉宏 落合 喜彦 根岸 光男 柴坂 信明 岡部 宣明



西 2 区

別 府	新 堀	玉 井	自治会名
別府四丁目 別府三丁目 別府二丁目 下増田 東別府 西別府 別府一丁目五丁目 新堀第5 新堀第4 新堀第3 新堀第2 新堀第1	鴨居 雅弘 森田 廣次 森田 廣次 高野 文男 荒木 勝雄 田熊 建雄 秋田 剛 玉井在豪	菅原 忠男 田熊 建雄 菅玉井団地 玉井中央(会長代行) 高柳	

吉 岡	荒 川	自治会名
リバーコート熊谷 グレイパレス 熊谷ハイタウン 平塚新田 楊井 村岡	宮本町 見晴町 伊勢町 砂堀 宮前東部 宮前西部 河原町 櫻町	松村 旭 片岡 福蔵 松田 真市 山川 稔 原 邦夫 小林 良二 野口 幸雄 平山 敏夫



南 区

籠 原	大 麻 生	自治会名
籠原第一 美土里町 籠原住宅連合 籠原団地第1 籠原 三和 日神パレステージ籠原	野鳥の森 外原 新堀新田北部 ことぶき団地 自衛隊B官舎 籠原住宅連合 籠原住宅連合 籠原住宅連合 籠原住宅連合 籠原住宅連合 籠原住宅連合 籠原住宅連合	堀口 武 安藤 光男 谷 知存 藤野 和夫 佐藤 保 木元 雅義 磯田 静男 加藤 郁雄 堀口 増夫 柏崎 薫 宗我部 悦功 清水 芳信 米良 厚

大 幡	奈 良	中 条	肥 塚	自治会名
代 柿沼 新島 原島	集福總會 中妻団地 泉宮熊谷下奈良団地	中条川北 小曾根 大塚 中条川南	肥塚中央 西肥塚 南肥塚 北肥塚 新里 熊谷グリーンタウン 肥塚中島	根岸 俊彦 榎本 幹雄 阿部 省治 本間 陽三 小林 博



北 区

妻沼地区

自治会名	若宮・川端 東岡 中岡 妻沼本町・森下 一本木 登り戸 池ノ上 錦町 聖天町 横町 寺内・寺内新田 上町 妻沼仲町 下町 卯月花 福寿寺 弥下 弥藤吾中口 杉之道王子 浅見 北口 年代 弥藤吾新田 妻沼南岡地 妻沼神明町 妻沼中央 妻沼東二丁目 妻沼東三丁目 妻沼東四丁目 妻沼東五丁目
会長名	金子 滋 田沼 勲 中里 義一 山口 金一 高山 洋造 吉澤 道夫 堀越 道夫 清水 健司 大澤 健 神山 忠之 川野 實美 小林 芳雄 今井 貞雄 神田 正一 茂木 久雄 坂上 洋平 内田 善治 稲村 弘 飯塚 幸三 小林 政夫 春田安次郎 森 孝一 市堀 哲篤 黒沢 昭夫 河合 昇 羽鳥 一雄 尾島 眞治 杉山 亨 渡邊 和郎 山本 眞一 嶋田 庸雄



茂木会長



小林芳雄会長

自治会名	男沼 妻沼台 出来島 間々田 上小島 下小島	太田 飯塚 福王寺 古江原 八木田 道ヶ谷戸 上江袋南 江北 北武蔵岡地 原井 市ノ坪 上根 江波 江波台 八ツ口 善ヶ島東部 善ヶ島西部 善ヶ島中部 善ヶ島西部第二 上須戸東部 上須戸中部 上須戸西部 上須戸ハイツ 西城 西城北 田島 西野東部 西野中部 西野西部 上入 中宿 下宿 西島 向野	自治会名	男沼 浅見 神藤和裕 神山治男 青木福永 小林俊一 小林邦博		
会長名	浅見 淳 神藤 和裕 神山 治男 青木 福永 小林 俊一 小林 邦博	石川 順省 井上 善司 大月 信男 中島 文雄 川田 久夫 永島 紀男 高柳 四郎 井上 通 三澤 吉久 長島 清 内田 利明 今村 博 長島 孝治 新井 努 羽鳥 廣 楠沼 久 長島 健治 吉野 良夫 藤野 宏 戸井田正夫 神田太喜夫 茂木 進一 吉田 三夫 春田 勝治 細谷 憲司 湯口小夜子 上條 利春 舞原 昇平 舞原 章一 齊藤 六男 吉川 勝利 春田 明	自治会名	荒宿 葛和田岡地 日向山 日向中 日向下 日向岡地 弁財 大野上 大野下 飯瀬	会長名	巻川 長幸 磐城 英二 吉野 昭介 吉野 一夫 吉田 達也 小峰 正明 大島 政廣 宮越 政雄 萩野晃三郎

自治会名	大里 上恩田 中恩田 善津田 下恩田 手島 小泉 屈戸 津田新田 天水 中曾根 吉所敷 沼黒 高本 津田 向谷 相上 玉作 箕輪 青山 小八林 船木台二丁目 船木台三丁目 船木台五丁目
会長名	穴水 義弘 深作 豊治 長谷川 義雄 嶋崎 守夫 奥平 義夫 大久保 博 小澤 萬平 長島 利一 田口富士雄 大島 正彦 齊藤 男 小池 澄康 田中 正勝 大久保 毅 小林 英世 須藤 俊彦 金井 裕 村松 宇一 松本 敏夫 堀 忠男 川口 富子 佐藤 勝司 小林 哲 町田 哲

大里地区



須藤会長

自治会名	秦 荒宿 葛和田岡地 日向山 日向中 日向下 日向岡地 弁財 大野上 大野下 飯瀬
会長名	巻川 長幸 磐城 英二 吉野 昭介 吉野 一夫 吉田 達也 小峰 正明 大島 政廣 宮越 政雄 萩野晃三郎

自治会名	江南 成沢 あおば 成沢南 江南みどり 江南中央南 三本 上新田 上押切 下押切 榎春北 榎春南 御正第1 御正第2 御正第3 御正南 須賀広 野原 小江川 塩 板井 榮原谷 千代 江南パークシティ 江南中央
会長名	瀬山 正憲 春日千恵子 柴田英二郎 坂田 稔 小柴 清 笠原 忠行 永田三千里 高柳 昭一 中村 一孝 坂田 旭 橋本 敏男 橋本 弘 伊藤十四英 高橋 正 野呂 茂男 岡部 幸夫 増田 富雄 関口 治男 富田 利夫 杉田 義勝 相原 忠雄 谷 昌篤

江南地区



小柴会長

全自治会数 366自治会

平成24年9月5日現在 ※色付は地区連合会長



いざという時、頼りになる人が身近にいますか？
例えば、災害が起きたときには、隣近所の人たちの助け合いが必要です。
便利な世の中になり、もしもの時のことを忘れがちです。
日頃からの近所同士の交流が大切です。
ぜひ自治会への加入をお願いします。

自治会に
加入しましょう！

◇小江川地区1,000本桜事業◇

小江川自治会長 岡部 幸夫

小江川自治会は江南地区に属し、会員世帯数は354世帯です。1,000本桜事業は、荒廃した平地林を地域住民のボランティア活動によって整備し、桜の苗木(神代曙)を植える活動です。長年放置された荒地の為に雑草を始め篠、雑木などが生い茂り多くの労力を必要とします。しかし、この目的を達成することにより素晴らしい環境を再生することになります。

- 1 荒廃した平地林の削減により環境整備、里山の再生
 - 2 協働作業を通じて最近薄れている地域の連帯意識や信頼関係の構築(絆)
 - 3 きれいに整備されることにより不法投棄の抑止や犯罪の防止効果も得られる。
- 整備された土地を継続的に維持管理する手段として桜の苗木を植栽し、毎年度下草刈りをし、維持管理する訳です。結果として将来「桜の観光名所」が誕生することとなります。
- ひとりでも多くの人に桜事業に参加していただき、関心を持って支えていただく為に、桜の里親制度を取り入れました。150名を超える大勢の方に応募いただきオリジナルの標識を製作し、苗木の前に立てさせていただいております。

《スローガン》

みんなが主役の桜事業

盛り上げよう同じ思いの桜事業



1000本桜事業の看板と桜の里親の標識

ボランティア活動は毎年6日間位をお願いしています。作業内容は雑草刈り作業を中心に時には一抱えもある大木の伐採、雑草の片付けや破砕機による処理作業、休憩時のお茶入れ、作業者の応援や安全を見守る役と多分野に亘る年齢、体力に応じた役割分担となっております。作業時間は9時から11時までの2時間で、地元住民以外の参加も大歓迎です。

桜事業は3年経過し、4年目を迎える「道なかば」の事業です。皆さんのご理解とご協力により少しずつ「形」になってまいりました。これからが正に正念場です。いろいろな「目線」での「提案やアドバイス」をいただく事が大事と考えます。

皆さん、「小江川地区1,000本桜事業」を熊谷市の新たな「桜の観光名所」として育てて下さるようお願いし、最後に「熊谷千本桜音頭」を紹介させていただきます。(歌詞は6番まであります。)



小江川地区 1,000本桜事業

熊谷千本桜音頭

補作詞 作詞 桜事業有志
作曲 東の水
演奏 江南スシオオーケストラ
キタレシード
唄 麻生直花

一、山が富士なら 桜は熊谷
ここが自慢の 千本桜
野道(のちみち) 畦道(のぢみち) 花びら舞って
ひばり高飛ぶ 緑の町よ
ここは小江川 桜の名所

二、暑いばかりが 熊谷じゃない
熱さ心も 日本一よ
飲めや咽えや めでたい宴(いひ)
サーサ咽おう 千本桜
ここは蟹沢 桜の名所

三、植えた植えたよ 桜の苗木
咲いてみごとな 高根の杜へ
みんな集いて 花見の酒よ
若さあふれる 桜の名所
ここは船川 千本桜

◇秦自治会連合会◇

会長 船田昭介

秦自治会連合会は、熊谷地区内では利根川を背にした北東部に位置し、15の単位自治会で構成されている。加入世帯数は925世帯（平成24年7月1日現在）であり、地区内は団地が2か所にあるものの、大方は閑かな田園地帯である。また、日本初の公許女医第1号荻野吟子生誕の地としても多くの人々に知られている。我が連合会は毎月行う定例の自治会長会議をもって年間行事や諸問題について慎重に協議し、それぞれの活動に取り組んでいる。

今回は公民館、校区連絡会等との事業の協力や、地区の史跡の紹介をしたいと思う。

秦放課後子ども教室

秦放課後子ども教室は旧妻沼町の時に発足した「遊びの学校」が基となっている。

この教室は秦小学校児童を対象に実施され、参加を希望する子ども達が土曜日の午前中に小学校に行き、いろいろな遊びやスポーツ等を行う。また、そんな「ほっとできる」居場所を作ることでも楽しみが広がる。

代表する年間行事としては、春のポピー摘み、バスで目的地まで行き2〜3時間歩く親子ハイキング教室。また、夏休みの夜に校庭で行う「夏休み映画会」では、焼きそば、かき氷、綿あめなどもいただける。当日はPTAをはじめ地元役員の協力があり、160名位参加している。映画会終了後は高学年を中心に60名位参加の「お泊まり会」が秦老人憩いの家で行われる。更に、正月の餅つき大会、3月の6年生を送る会等の行事の参加に

よって子ども達が思い出を作り、多くの人達との交流も深まり、子ども達の成長に大いに役立っていると思える。



親子ハイキング教室「戦場ヶ原」

長井神社（日向のはちまんさま）

当社はその昔、八幡宮と称していたが、明治9年村社となり、長井荘にちなみ長井神社と改称した。「八幡宮御鎮座伝記」によれば天喜5年（1057）源頼義公が東征の時に当地に滞留。この時、

竜海なる池の大蛇退治を島田大五郎道平に命じて行った。これを東北地方平定の吉事として当社を祀った。次に「御伝記」は大永3年（1523）島田山城守が乱世のため当社は零落したが、暦応元年足利尊氏が再興したと書き継ぎ、更に永禄4年（1561）島田源次郎が当社の「伝記」を書き継ぎ、その後も神仏習合の時代から分離に至るまで、当社別当三学院海栄と慶雅が書き継いでいる。当社は、熊谷市日向に鎮座する日向の鎮守様であり、地域社会の安泰と繁栄を祈願している。古くから日向の八幡様と呼ばれ、安産の神様であると共に淋病、消かちなど下の病に靈験ありと信仰されている。



長井神社

◇男沼自治会連合会◇

会長 浅見 淳

男沼自治会連合会は、熊谷市の西北部に位置し、利根川の南面に男沼、間々田、出来島、妻沼自治会、北面に上小島、下小島自治会で構成され、非常に閑静な農村地帯です。
東側近隣には、県内第1号の国宝に指定された熊谷市妻沼聖天様、西側には能護寺があり、豊かな歴史と自然に恵まれています。



男沼樋門工事中の風景・大正6年春（浅見栄吉氏所蔵）

男沼農村地帯の変遷

その昔男沼農村地帯は、利根川の乱流により引き起こされる間々田の無堤防地区からの洪水による被害を度々受けていました。丹精込めた農作物は水腐れとなり、耕作地は荒地となる、地名通り「おどろま村」泥沼の生活でした。万策尽きた住民は徐々に減少し、上州（太田市）金山の北方に位置する丸山村へ全村移住するしかないと、長勝寺において村民総会が開かれました。

しかし、長勝寺住職の夢枕に鎮守の神が現れ、「男沼を守るには、逆水止に埒樋（増水時に閉止し、引き水時開くもの）を設けよ」とのお告げがあったことから、村役人、村民一同男沼再興の決意を固め、一致協力し樋門を新設、男沼は現在のような沃野となりました。



間々田万作踊り

間々田万作踊りについて

間々田万作踊りは、江戸末期より明治、大正、昭和と長年に亘り、この土地で万人に親しまれています。稲荷神社にて五穀豊穡、養蚕、万作物豊作をお祈りし、新春2月25日は今年の豊作を祈願し、3月には初午の祭りと共に神社境内にて万作踊りを奉納しました。

大正から昭和10年頃が最盛期で保存会の会員は20名。群馬県の伊香保町や秩父方面、遠くは神奈川県まで神社祭に招待され、その後昭和15年頃より大東亜戦争により平成元年まで中断、平成2年に復元し、妻沼町文化財に指定され、町行事の敬会にも出場し、町民に親しまれました。ただ今会員は男子12名、女子10名にて、子孫に伝えるべく稽古に励んでいます。

出来島あばれ神輿の飛び込み儀式

出来島あばれ神輿は、「ひろば」第7号に紹介されています。とんぼから飛び込む儀式が、前年までは足からの飛び込みがほとんどでしたが、今年からは水平飛行形が多くなりましたので写真を紹介します。



出来島飛び込み儀式

参考文献

男沼村誌

男沼門樋排水路橋梁名の由来

平成24年度熊谷市自治会連合会総会

5月22日(火)、大里生涯学習センター「あすねっと」において、自治会長約200名の出席のもと、熊谷市自治会連合会総会を開催しました。

総会では、小林会長があいさつを述べた後、宮本町自治会松村会長が議長に選出され、以下の議案が承認されました。

議案

- ・平成23年度事業報告及び決算報告
- ・役員選出(案)
- ・平成24年度事業計画(案)及び予算(案)
- ・表彰規程一部改正(案)



続いて、富岡市長及び礒崎市議会議長からご祝辞をいただき、永年自治会活動に功績のあった自治会長に対し、感謝状が贈呈されました。



新任自治会長研修

6月26日(火)、本年度新しく自治会長になられた方を対象に、新任自治会長研修を開催しました。

研修には、64名の自治会長の参加があり、自治会制度、連合会の事業、自治会に関連する市事業などの説明のほか、「自治会活動の実態」と題して、熊谷市自治会連合会の小林会長、宗我部副会長を講師として、自治会活動の状況をご紹介いただきました。



妻沼会場

参加した自治会長の感想

- 各自治会の特性もあると思われるので画一的にできないが参考になった。
- 精力的、多面的な活動状況が大変参考になった。
- 連合会の役割が理解でき、自治会のあり方や運営方法、市とのつながりがよくわかった。



江南会場

編集後記

「熊谷の夏」はうちわ祭、めぬま祭り、花火大会等で盛り上がり、また、多くの人々がロンドンオリンピックでの日本人選手の活躍に一喜一憂したのではないのでしょうか。「熊谷のあついな夏」を、「気温の暑さ」に負けない「気持ちの熱さ」で、地域活性化のために自治会員の方々に頑張っていたいただいているところでは。

「ひろば」も第12号の発刊となりました。原稿を読ませていただき、各地区の自治会活動の様子や特色ある祭礼に関することが大変よく紹介されていました。

今号にご寄稿いただきました皆様にお礼申し上げますとともに、各自治会の今後のますますのご発展をお祈りいたします。

熊谷市自治会連合会副会長 根岸一雄